

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	地域振興部市町村課	氏名	森合 雄志
派遣先 団体名	奥出雲町立三成中央公民館		
① 研修の日時 平成25年8月2日(金)～4日(日) 2日 9:00～17:00 納涼祭の準備 3日 9:00～16:00 同上 16:00～21:00 納涼祭 4日 9:00～15:00 後片付け			
② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 納涼祭のスケジュール 16:00 開場 16:30 開会セレモニー 16:50 ステージイベント 18:30 夕食タイム 19:30 ゲーム、きもだめし 21:00 終了  私の地元である奥出雲町(美女原地区)の納涼祭のスタッフとして、今回参加させていただきました。 納涼祭開催の主体は、公民館、やま子会(炭焼がま等の運営している会)、そして美女原自治会の青年部のみなさんです。  納涼祭前日はステージ、テント、机、椅子などの設置を、本番では、会場係として各テーブルに料理を運ぶ仕事をメインに行い、納涼祭翌日に片付けを行い、終了です。			
③ 研修の感想 今回の納涼祭の目的は「地域間・世代間交流」ということで、子どもからお年寄りまで、美女原自治会から他の自治会までの交流が活発に行われることを目的としています。 私はその中でも世代的、地域的にも中間的な立場に位置付けられることから、お互いの交流が積極的に行われるよう「間を取り持つ」ことを意識して行動しました。とはいえ、私も含め奥出雲町民は、遠慮がち、人見知り(あくまで私の勝手な主観)の方も多いため、打ち解けるまでには時間がかかります。そこで個人的に心がけたことは、会場係として料理を各テーブルに運ぶ際に、祭りにいらっしゃった方たちに積極的に話しかけるようにしました。すると、最初は薄かった反応も、何			

回かやりとりを繰り返していくうちに少しずつ壁が消えていく感覚がありました。

地域に溶け込むのは大変だなと思いつつ、「地域間・世代間交流」の意味を改めて考えてみると、思い起こせば、私も子どもの頃は「地域」のおじいちゃん、おばあちゃん、おじちゃん、おばちゃん、いろいろ方にお世話になって育ちました。学校帰りに近所のおばあちゃんにお菓子をもらったり、お話しをしたり。地域間・世代間の関係が希薄だと言われる中で、このようなイベントを通じて、いろいろな方とふれあうことの大切さを改めて感じました。

最後になりましたが、この度の研修を受けて入れていただきました三成中央公民館、納涼祭でお世話になったやま子会の皆様、美女原自治会の皆様に、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)  
なし

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。